



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 東京センチュリーリース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8439 URL http://www.ctl.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 本田 健 (TEL)03(5209)6710  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	359,735	4.5	23,560	14.9	26,518	12.7	17,582	22.0
25年3月期第2四半期	344,170	1.4	20,503	5.2	23,522	3.6	14,411	8.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 23,427百万円(61.5%) 25年3月期第2四半期14,504百万円(10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	165 72	165 56
25年3月期第2四半期	135 63	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,575,109	259,207	9.4
25年3月期	2,465,817	233,668	9.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 241,777百万円 25年3月期 222,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	24 00	-	24 00	48 00
26年3月期	-	26 00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	26 00	52 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	11.4	44,000	4.8	48,000	3.7	30,000	3.7	282 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	106,624,620株	25年3月期	106,624,620株
期末自己株式数	26年3月期2Q	590,994株	25年3月期	370,456株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	106,100,709株	25年3月期2Q	106,254,610株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

- ・ 四半期決算短信補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。
- ・ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。  
平成25年11月7日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会
- ・ 上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しております。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) 最近における四半期ごとの業績の推移 .....	13
(2) 営業取引の状況 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の上昇や来年度以降の消費税率引き上げに伴う消費マインドの冷え込みなどの懸念材料があるものの、円安による価格競争力の改善に伴う輸出・生産の増加により企業業績が改善するなど、先行きに明るい兆しが見え始めております。

このような状況下、当社グループにおきましては、平成25年度を初年度とする第二次中期経営計画(3ヵ年)を策定し、「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指した取り組みを開始いたしました。

営業基盤強化策として、オート事業の取り組み強化を図るべく、業界大手レンタカー会社であるニッポンレンタカーサービス株式会社を連結子会社とするとともに、当社の全額出資子会社である東京オートリース株式会社と、当社と日本電信電話株式会社が50%ずつ出資し両社の持分法適用関連会社である日本カーソリューションズ株式会社が合併契約を締結いたしました。(平成25年10月1日付で合併いたしました。)

さらに、海外ビジネスの拡大を図るべく、中国における商業ファクタリング事業会社を設立するとともに、タイにおけるリース需要増に対応するため、当社の持分法適用関連会社であるタイ現地法人 TISCO TOKYO LEASING CO.,LTD. がパーツ建無担保普通社債を発行いたしました。

事業の成果としましては、当第2四半期連結累計期間の契約実行高は前年同四半期連結累計期間に比べて10.4%増の6,008億69百万円となりました。

損益面については、売上高は前年同四半期連結累計期間に比べて4.5%増の3,597億35百万円、営業利益は同14.9%増の235億60百万円、経常利益は同12.7%増の265億18百万円、四半期純利益は同22.0%増の175億82百万円となりました。

### (セグメント別業績の概況)

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業では、契約実行高は前年同四半期連結累計期間に比べて11.7%増の3,560億48百万円となりました。売上高は同4.3%増の3,472億3百万円、セグメント利益は同9.1%増の210億16百万円となりました。

#### ファイナンス事業

ファイナンス事業では、契約実行高は前年同四半期連結累計期間に比べて7.3%増の2,419億13百万円となりました。売上高は同6.6%増の78億63百万円、セグメント利益は同15.2%増の44億44百万円となりました。

#### その他の事業

その他の事業では、契約実行高は29億8百万円となりました。売上高は前年同四半期連結累計期間に比べて23.1%増の46億68百万円、セグメント利益は同35.9%増の13億87百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

##### 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,092億92百万円(4.4%)増加し2兆5,751億9百万円となりました。主な要因は、営業資産の増加であります。

##### 営業資産

当第2四半期連結会計期間末の営業資産残高は、前連結会計年度末に比べて612億59百万円(2.7%)増加し2兆2,926億23百万円となりました。

セグメント別残高は、賃貸・割賦事業が1兆7,564億95百万円、ファイナンス事業が5,332億47百万円、その他の事業が28億80百万円であります。

##### 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて837億54百万円(3.8%)増加し2兆3,159億2百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が234億15百万円減少したものの、有利子負債が増加したことによるものであります。

## 有利子負債

有利子負債は、前連結会計年度末に比べて1,009億50百万円（5.2%）増加し2兆401億69百万円となりました。

有利子負債の内訳でみると、短期調達においては、借入金による調達及びコマーシャル・ペーパーの発行による調達が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べて468億73百万円（4.4%）増加し1兆1,123億40百万円となりました。長期調達においては、普通社債を300億円発行したこと等から前連結会計年度末に比べて540億77百万円（6.2%）増加し9,278億29百万円となりました。

## 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べて255億38百万円（10.9%）増加し2,592億7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が150億29百万円増加したことであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.4ポイント上昇し9.4%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	36,597	39,091	2,494
投資活動キャッシュ・フロー	1,667	10,143	11,810
財務活動キャッシュ・フロー	83,753	69,649	14,104
現金・現金同等物四半期末残高	89,982	121,809	31,826

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動では、税金等調整前四半期純利益が269億36百万円、賃貸資産減価償却費・賃貸資産除却損が297億13百万円及び営業貸付債権の減少による収入が207億70百万円に対し、賃貸資産の取得による支出が628億49百万円及び仕入債務の減少による支出が423億25百万円となったこと等により390億91百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は365億97百万円の支出）となりました。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動では、投資有価証券の取得による支出が16億29百万円となったこと等に対し、連結の範囲変更に伴う子会社株式の取得による収入が105億7百万円及び投資有価証券の売却及び償還による収入が23億42百万円となったこと等により、101億43百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は16億67百万円の支出）となりました。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動では、長期借入金の返済による支出が1,520億87百万円及び社債の償還による支出が79億円になったこと等に対し、長期借入金の借入による収入が1,486億25百万円、社債の発行による収入が562億円及びコマーシャルペーパーの増加額が146億円となったこと等により、696億49百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は837億53百万円の収入）となりました。

これらにより、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末に比べ318億26百万円増加し、1,218億9百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,250	66,465
割賦債権	212,041	225,247
リース債権及びリース投資資産	1,271,716	1,285,676
営業貸付債権	450,040	432,609
営業投資有価証券	102,316	97,499
その他の営業資産	753	845
賃貸料等未収入金	14,684	13,538
有価証券	18,000	26,000
商品及び製品	1,520	1,568
繰延税金資産	1,284	1,784
その他の流動資産	50,233	73,077
貸倒引当金	4,799	4,152
流動資産合計	2,174,042	2,220,158
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	201,816	257,159
賃貸資産前渡金	8,197	2,402
その他の営業資産	-	2,880
社用資産	2,956	7,094
有形固定資産合計	212,970	269,536
無形固定資産		
賃貸資産	333	307
のれん	202	304
その他	3,654	3,826
無形固定資産合計	4,190	4,439
投資その他の資産		
投資有価証券	57,456	61,283
破産更生債権等	5,357	4,533
繰延税金資産	998	1,852
その他の投資	13,175	15,511
貸倒引当金	2,373	2,204
投資その他の資産合計	74,613	80,975
固定資産合計	291,774	354,951
資産合計	2,465,817	2,575,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,560	138,144
短期借入金	340,667	357,840
1年内償還予定の社債	26,700	68,194
1年内返済予定の長期借入金	286,176	283,794
コマーシャル・ペーパー	648,900	663,500
債権流動化に伴う支払債務	54,700	57,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	-	623
未払法人税等	7,059	8,125
繰延税金負債	773	779
割賦未実現利益	10,482	11,895
賞与引当金	1,807	2,193
役員賞与引当金	109	58
その他の引当金	-	306
その他の流動負債	37,393	34,506
流動負債合計	1,576,330	1,626,963
固定負債		
社債	98,028	105,000
長期借入金	484,047	501,892
債権流動化に伴う長期支払債務	-	2,324
繰延税金負債	3,739	5,573
退職給付引当金	939	2,399
役員退職慰労引当金	127	235
メンテナンス引当金	36	59
その他の固定負債	68,899	71,453
固定負債合計	655,817	688,938
負債合計	2,232,148	2,315,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,231	34,231
資本剰余金	5,538	5,537
利益剰余金	176,865	191,895
自己株式	581	1,306
株主資本合計	216,052	230,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,423	11,940
繰延ヘッジ損益	137	10
為替換算調整勘定	3,282	510
その他の包括利益累計額合計	6,279	11,419
新株予約権	148	312
少数株主持分	11,187	17,117
純資産合計	233,668	259,207
負債純資産合計	2,465,817	2,575,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	344,170	359,735
売上原価	310,021	318,888
売上総利益	34,149	40,847
販売費及び一般管理費	13,646	17,286
営業利益	20,503	23,560
営業外収益		
受取利息	32	31
受取配当金	450	522
持分法による投資利益	1,473	2,757
為替差益	20	506
その他の営業外収益	1,423	572
営業外収益合計	3,399	4,390
営業外費用		
支払利息	279	286
金融派生商品費用	0	1,038
その他の営業外費用	101	106
営業外費用合計	380	1,431
経常利益	23,522	26,518
特別利益		
負ののれん発生益	-	1,411
投資有価証券売却益	57	381
その他	0	55
特別利益合計	58	1,848
特別損失		
減損損失	23	1,219
その他	186	211
特別損失合計	209	1,431
税金等調整前四半期純利益	23,371	26,936
法人税等	8,549	8,846
少数株主損益調整前四半期純利益	14,821	18,089
少数株主利益	410	506
四半期純利益	14,411	17,582



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,821	18,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	859	2,509
繰延ヘッジ損益	255	173
為替換算調整勘定	266	2,809
持分法適用会社に対する持分相当額	21	191
その他の包括利益合計	316	5,337
四半期包括利益	14,504	23,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,079	22,723
少数株主に係る四半期包括利益	424	704

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23,371	26,936
貸貸資産減価償却費	13,685	16,117
貸貸資産除却損	4,047	13,596
社用資産減価償却費及び除却損	1,415	1,227
有価証券及び投資有価証券評価損益(は益)	16	-
為替差損益(は益)	20	506
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,540	921
賞与引当金の増減額(は減少)	45	122
退職給付引当金の増減額(は減少)	7	146
受取利息及び受取配当金	482	553
資金原価及び支払利息	5,432	4,664
持分法による投資損益(は益)	1,473	2,757
有価証券及び投資有価証券売却損益(は益)	57	381
減損損失	23	1,219
割賦債権の増減額(は増加)	1,790	7,912
リース債権及びリース投資資産の増減額(は増加)	1,939	7,187
営業貸付債権の増減額(は増加)	1,584	20,770
営業投資有価証券の増減額(は増加)	432	6,499
貸貸資産の取得による支出	44,129	62,849
破産更生債権等の増減額(は増加)	454	871
仕入債務の増減額(は減少)	16,803	42,325
その他	6,402	5,168
小計	20,259	28,053
利息及び配当金の受取額	777	1,103
利息の支払額	5,497	4,819
法人税等の支払額	11,618	7,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,597	39,091
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社用資産の売却による収入	8	239
社用資産の取得による支出	827	529
投資有価証券の売却及び償還による収入	225	2,342
投資有価証券の取得による支出	511	1,629
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	10,507
その他	562	787
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,667	10,143

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	16,421	7,969
コマーシャル・ペーパーの純増減額（は減少）	20,300	14,600
長期借入れによる収入	178,505	148,625
長期借入金の返済による支出	188,670	152,087
債権流動化による収入	5,000	5,300
債権流動化の返済による支出	7,209	51
社債の発行による収入	62,300	56,200
社債の償還による支出	500	7,900
少数株主からの払込みによる収入	19	356
配当金の支払額	2,337	2,550
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	0	744
その他	73	69
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>83,753</b>	<b>69,649</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	2,014
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	45,452	38,686
現金及び現金同等物の期首残高	44,530	83,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,982	121,809

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	賃貸・割賦事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	333,001	7,377	3,792	344,170
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	389	389
計	333,001	7,377	4,181	344,559
セグメント利益	19,255	3,858	1,021	24,135

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,135
セグメント間取引消去	389
全社費用(注)	3,243
四半期連結損益計算書の営業利益	20,503

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	賃貸・割賦事業	ファイナンス 事業	その他の事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	347,203	7,863	4,668	359,735
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	386	386
計	347,203	7,863	5,054	360,121
セグメント利益	21,016	4,444	1,387	26,849

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	26,849
セグメント間取引消去	386
全社費用(注)	2,902
四半期連結損益計算書の営業利益	23,560

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

寮社宅の売却方針決定等に伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,219百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において計上した負ののれん発生益1,411百万円は報告セグメントに配分しておりません。

## (重要な後発事象)

当社の全額出資子会社である東京オートリース株式会社（以下「TALC」）と、当社と日本電信電話株式会社（以下「NTT」）が50%ずつ出資し両社の持分法適用関連会社である日本カーソリューションズ株式会社（以下「NCS」）は平成25年8月5日付合併契約に基づき、平成25年10月1日付で合併いたしました。

- ( ) 被取得企業の名称及び事業の内容、企業結合を行った主な目的、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得企業を決定するに至った主な根拠

被取得企業の名称

日本カーソリューションズ株式会社

事業の内容

賃貸・割賦事業

企業結合を行った主な目的

国内オートリース市場は、近年ほぼ横ばい傾向にあり、今後も一定の市場規模は維持されると見込まれるものの、車両の小型化、大企業を中心とした持続的なコスト削減努力への対応、顧客ニーズの高度化などに伴い、オートリース市場内における競争は従来以上に激しさを増しております。

このような状況下、当社及びNTTは、NCSとTALCの事業を統合することで規模を拡大し効率化を図るとともに、両社の経営資源を最大限活用し各種シナジー効果を発揮させることで、合併会社が更なる拡大・発展を遂げ、オートリース業界で確固たる地位を築くことを企図しております。

なお、合併新会社は当社の連結子会社となることから、当社は親会社として主体的に企業経営をサポートします。合併新会社は当社と全面的に協力し、顧客基盤の拡大や新規サービスの提供による売上増加に加え、効率的なオペレーションを行い、業績拡大に努めます。

企業結合日

平成25年10月1日

企業結合の法的形式

NCSを存続会社、TALCを消滅会社とする吸収合併

結合後企業の名称

日本カーソリューションズ株式会社

取得企業を決定するに至った主な根拠

法的に消滅会社となるTALCの支配株主である当社が、本合併により新会社の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合会計上はTALCが取得企業に該当し、NCSが被取得企業となったものであります。

- ( ) 合併比率、算定方法、交付株式数

合併比率

会社名	NCS	TALC
合併比率	1	5.8642

算定方法

合併当事会社株主にとっての公正性および妥当性を確保する観点から、両社の財務状況、資産状況、将来の業績見通しや第三者機関による合併比率の算定結果も参考として、慎重に協議を重ねた結果、最終的に決定したものであります。

交付株式数

普通株式 2,345,680株

## 4. 補足情報

## (1) 最近における四半期ごとの業績の推移

平成26年3月期(連結)

	第1四半期 25年4月～25年6月	第2四半期 25年7月～25年9月
	百万円	百万円
売上高	175,159	184,576
売上総利益	17,772	23,075
営業利益	10,901	12,659
経常利益	13,799	12,719
税金等調整前四半期純利益	14,392	12,544
四半期純利益	9,750	7,832
	円 銭	円 銭
1株当たり四半期純利益	91 84	73 88
	百万円	百万円
総資産	2,549,718	2,575,109
純資産	246,633	259,207
自己資本比率(%)	9.0	9.4

平成25年3月期(連結)

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	172,708	171,462	170,349	176,607
売上総利益	17,755	16,394	16,283	20,449
営業利益	10,773	9,729	8,483	12,986
経常利益	12,673	10,848	9,399	13,371
税金等調整前四半期純利益	12,607	10,763	9,400	13,418
四半期純利益	7,810	6,600	5,885	8,638
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり四半期純利益	73 51	62 12	55 39	81 30
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	2,284,672	2,337,869	2,334,984	2,465,817
純資産	207,049	213,424	220,299	233,668
自己資本比率(%)	8.6	8.7	9.0	9.0

## (2) 営業取引の状況

契約実行高(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

セグメントの名称		当第2四半期連結累計期間	
		金額	前年同四半期比(%)
貸貸・割賦事業	ファイナンス・リース	237,639	104.0
	オペレーティング・リース	62,849	142.4
	貸貸取引計	300,489	110.2
	割賦取引	55,558	120.0
	貸貸・割賦事業計	356,048	111.7
ファイナンス事業		241,913	107.3
その他の事業		2,908	-
合計		600,869	110.4

(注) 割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

営業資産残高(平成25年9月30日)

(単位：百万円)

セグメントの名称		前連結会計年度		当第2四半期連結会計期間	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
貸貸・割賦事業	ファイナンス・リース	1,271,716	57.0	1,285,676	56.1
	オペレーティング・リース	202,150	9.1	257,467	11.2
	貸貸取引計	1,473,866	66.1	1,543,143	67.3
	割賦取引	201,559	9.0	213,352	9.3
	貸貸・割賦事業計	1,675,425	75.1	1,756,495	76.6
ファイナンス事業		555,938	24.9	533,247	23.3
その他の事業		-	-	2,880	0.1
合計		2,231,363	100.0	2,292,623	100.0

(注) 割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(ご参考)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
営業保証額	45,211	47,010